

弥栄はごろも苑

障がいのある人の雇用に取り組む

社会福祉法人 みねやま福祉会 (京丹後市)

「京都はあとふる企業」です

【主な事業内容】

高齢者福祉事業、児童福祉事業、障がい者福祉事業

【障がいのある人の主な仕事】 清掃、洗濯、食器洗いなど特性に合わせた様々な仕事

多数の施設を運営されており、今回は、総合老人福祉施設「弥栄はごろも苑」を訪問しました。

【障がい者雇用の経緯】

40年以上前に、峰山乳児院で障がい者を雇用したのが始まりです。法人の運営方針に「『管理より生活を』大切に」を掲げ、「障がいの有無」や「男女」の区別ではなく、個性を活かした運営を目指しています。多様な人材を採用することによる職員間の価値観の共有と自己成長、地域社会への貢献等を目的に、障がいも個性として捉え、各部門で現在 24 名の障がいのある人が働いています。



【特性と個性に合わせた安定した働きを目指して】

障がいの種別は、身体・精神・知的・発達障がいと様々で、勤務時間や業務内容等は、本人と相談しながら、障がいの状況を考慮し決めます。主な仕事は、共用設備(部屋、廊下、トイレ等)の清掃、洗濯物たたみ・返却、食器洗い、手すり等の消毒、車椅子の清掃などです。各人の特性に合わせた伝え方や指示の仕方も工夫しています。介護士を目指し、勉強しながら働いている人もいます。

仕事は、無理のない範囲で、繰り返しながら、少しずつ覚えてもらいます。障害者就業・生活支援センターに全員が登録し、体調の不調や悩みなどの相談に連携してあたっています。必要な場合は、保護者も含めて対応します。

【Sさんに聞きました】

5年目になります。精神障がいでも通院しています。仕事は、洗濯物の返却、部屋・トイレ・廊下の掃除、手すりの消毒です。1日2時間、週3～4日の勤務です。以前は食器洗いなどもあり、週20時間の勤務で、私にはハードだったので、支援機関とも相談し仕事を減らしてもらいました。ストレスも少なくなりました。

同じ法人内の地域生活支援センターにも通っています。

利用者との接点は挨拶位ですが、掃除などの時に「ありがとう」と言われると嬉しいです。

